



令和5年6月30日発行
かんのん町保育園

6月の感染症情報
 コロナウイルス感染症 1名
 溶連菌感染症 4名
 ヘルパンギーナ 2名

気温が上がり、汗ばみやすい季節になりました。熱中症を防ぐには、こまめに水分補給をすること、帽子を被る事、十分な栄養と睡眠をとることが大切です。園でも子ども達が自分で気を付けることが出来るよう伝えていきます。

歯を大切にしましょう！



～6月22日に歯科検診がありました～

歯科検診の結果でOがついていた項目を確認してみましょう。今年では全体で虫歯がある子どもが10%、不正咬合の子が43%でした。特に過蓋咬合が1番多くいました。

★結果用紙は、健康ノートに貼り付けてください。

毎食後、歯みがきをしっかりとって過ごしましょう！

①過蓋咬合⇒下の歯が見えないほど上の歯を深くかみしめている状態です。硬い物、りんごやきゅうりやすりめなどを噛んで、噛む力を鍛えることで改善されます。



②反対咬合⇒下の歯が上の歯より前に出ている噛み合わせのこと。受け口とも言われ、食べ物がよく噛めないだけでなく、聞き取りにくい話し方になる事もあります。

③開咬⇒指しゃぶりや、口呼吸等が原因となり、上下の前歯を閉じても隙間ができるため、前歯で食べ物を噛み切ることが難しくなります。発音しづらいため、言葉が不明瞭で聞き取りにくくなることもあります。

不正咬合とは？

上下の歯が正しく噛み合っていない状態の事で、噛み合わせが悪いと噛む力が弱くなり、消化が悪くなったりします。かかりつけの歯科を受診する際には、相談してみても良いでしょう。

《熱中症予防について》

熱中症は重症化すると命にかかわる危険な病気です。この時期は、体がまだ汗をかくことに慣れていない為、発症のリスクが高まります。当園でも暑さ指数31を超える日は、戸外遊びをせず熱中症リスク予防をしています。「熱中症警戒アラート」などの情報も活用しましょう。

「熱中症警戒アラート」とは…

危険な暑さへの注意呼びかけ・予防行動を促すための情報です。熱中症の危険度を表す「暑さ指数」が一定の基準を超えると予測される日の前日夕方と当日の朝に発表されます。各放送機関のニュースや天気予報などでも確認できます。

○予防するには…？

- ・のどが渇かなくても、こまめな水分補給を行う。
- ・換気を行いながら室温は28℃以下に。
- ・屋外で周囲の人と距離を取れる場合は、適宜マスクを外す。

《暑さ指数》

危険	31～	運動は原則中止
嚴重警戒	28～31	激しい運動は中止
警戒	25～28	積極的に休憩
注意	21～25	積極的に水分補給
ほほ安全	～21	適宜水分補給

水遊び・プール遊び・シャワーについて

水遊びが始まり、それらについての注意事項の再度確認をお願いします。

○絆創膏を貼っている場合 ⇒水遊び中は絆創膏を

貼れないので、登園時に保護者の方が剥がしてください。剥がせない場合は水遊びを控えさせていただきます。

○かゆみ止めパッチや虫除けパッチは誤飲の恐れがあるため、保育園には貼らずに登園してください。

※また、掲示でも伝えていますがホクナリンテープを貼っている場合は、はがれてしまう可能性がある事や体調が良好でないと判断し、シャワーは行いませんのでご了承下さい。また、プールカードに×の記入をお願いします。